

作成日 2023 年 2 月 15 日
(最終更新日 2023 年 12 月 11 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2023-1-948

課題名 : 乳癌において SLFN11 が薬物治療効果や予後に及ぼす影響を明らかにする研究

1. 研究の対象

東北大学病院において組織学的に乳癌と診断された全ての方

2. 研究期間

2023 年 3 月 (倫理委員会承認後) ~2028 年 2 月

3. 研究目的

患者由来のがん細胞株の約半数で発現している SLFN11 (Schlafen 11, シュラーフェンイレブン) は、抗がん剤を投与するとクロマチン (DNA とタンパク質の複合体) に結合し、DNA 複製を永続的に停止させ抗がん効果を高めることが報告されている。本研究では、乳癌において SLFN11 が薬物治療効果に与える影響や予後に与える影響を検討する。

4. 研究方法

診療録から既に取り得済である臨床情報を収集する。また、既に採取されているがん組織検体において SLFN11 を含めた各種バイオマーカーをそれぞれの適した条件下で測定する。臨床情報と各バイオマーカーを対比し、各因子の予後予測因子・治療効果予測因子としての意義を検証する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・情報 : 病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号等
- ・生検や手術で採取した組織検体

6. 外部への試料・情報の提供

共同研究期間である国際医療福祉大学、東海大学、信州大学、福島県立医科大学、さいたま赤十字病院、神奈川県立がんセンター、兵庫医科大学、東北公済病院との間で組織検体や診療情報の提供を行う。提供は郵送もしくは電子媒体で行われる。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

7. 研究組織

【研究代表施設】

氏名：宮下 穰

職名：講師

所属施設：東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科

住所：〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-7214 FAX 022-717-7217

E-mail atihsayim8m8@med.tohoku.ac.jp

【共同研究機関】

- ① 愛媛大学愛媛大学大学院医学系研究科生化学・分子遺伝学

村井 純子

TEL 089-960-5254

- ② 国際医療福祉大学 乳腺外科

黒住 献

TEL 0476-35-5576

- ③ 東海大学医学部外科学系 乳腺外科

花村 徹

TEL 0463-92-1121

- ④ 信州大学病院 乳腺・内分泌外科

大場 崇旦

TEL 0263-35-4600

- ⑤ 福島県立医科大学 腫瘍内科学講座

徳田 恵美

TEL 024-547-1221

- ⑥ さいたま赤十字病院 乳腺科

樋口 徹

TEL 048-852-1111

- ⑦ 神奈川県立がんセンター 乳腺・内分泌外科

藤原 沙織

TEL 045-520-2222

- ⑧ 兵庫医科大学病院 乳腺・内分泌外科

永橋 昌幸

TEL 0798-45-6111

⑨ 東北公済病院 乳腺外科統括部長
甘利 正和
TEL 022-227-2211

⑩ 群馬大学医学部 病理診断学講座 講師
片山 彩香
TEL 027-220-7111

8. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究に関して開示すべき利益相反は無し。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮下 穰（研究責任者および代表者）

所属施設：東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科

住所：〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-7214 FAX 022-717-7217

E-mail atihsayim8m8@med.tohoku.ac.jp

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「9. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合